

中間評価概要と対処方針

<p>「モバイル環境やセキュリティを考慮した名前解決方式とその検証環境の研究開発」</p>	<p>受託者：(株)東芝</p>	<p>研究開発期間：H14年1月～H16年3月 (2年3ヶ月)</p>
<p>【全体的な進捗状況】 当初の計画（又は変更した計画）以上に進捗している。 概ね当初の計画（又は変更した計画）通り進捗している。 一部を除き、概ね当初の計画（又は変更した計画）通り進捗している。 当初の計画（又は変更した計画）通り進捗していない。</p>	<p>【対処方針】 ・現行どおり継続する。</p>	
<p>【所見及び改善事項】 研究開発の内容は、当該分野における研究開発を受託企業以外の研究開発機関において加速する効果が期待されることから、重要性は十分認められる。また、研究開発は当初の計画通り着実に進められており、高く評価できる。研究成果が、当初の予定通り公開されることで、研究開発コミュニティから広く参照され、今後の新しい名前解決方式の検証と標準化に貢献できるように、当該研究開発の活動は継続されるべきであると考えます。 ただ、テーマ名にも挙げられている、「モバイル環境」および「セキュリティ」に関しては、必ずしも、解決しようとしていることが、正確に説明できていない。本研究開発において解決しようとしているモバイルおよびセキュリティに関する具体的で詳細な問題点とそれに対する解決法をさらに整理するとともに、これらを分かりやすく説明することが、本研究成果の普及に貢献するものと考えます。 すなわち、本研究開発によって、具体的に解決しているモバイルとセキュリティに関する課題は、これらの技術課題の一部にすぎないが、本成果が、広く、名前解決方式の研究開発を行っている研究開発組織にとって有効に利用可能であることを明快に説明する必要があると思われる。</p>	<p>【受託者側の対応方針】 ・想定するモバイル環境やセキュリティ保護範囲を明確化し、何が課題で、それを解決するために、どのような特徴を持った名前解決方式を使用することが有効であるのかを、評価項目を含め記述した運用ガイドライン文書を作成する。</p>	

